

東段工セミナー

最新調査や技術発表

有功社シフト貿易
谷口有三チーフ 安全に原紙搬送



谷口有三有功社シフト貿易チーフディレクターは「原紙移動簡易補助器の紹介(モビロール)」をテーマに、段ボール現場での作業負担削減、安全性や環境性の向上を図る取り組みを発表した。

同社は主に欧州製品を輸入販売する業態ゆえ、欧州の労働や製造環境に精通しており、その中でドイツは過大になった人件費に悩む産業が多く、段ボール現場では効率性や柔軟性を求め「省人・省力・近代化」などスマート化が推進されていると報告。そのような市場で評価されている製品として、段原紙などロール移動を容易にする小型電動工具「モビロール」(伊レノバ社製造)を紹介した。

コルゲータ工程では段原紙をロールスタンドへ配置するが、原紙搬送装置がなければ作業負担が大きくても人力で押すか、排気ガスや人身事故の増加が懸念されるフォークリフトを用いるしかなかったが、モビロールで解決が図れるとする。作業者が片手で同機を操作し原紙の下に差し込めば、強い動力が原紙をスムーズに転がし目的地まで少ない労力で搬送、ロールスタンドへ持ち上げ載せることが可能になると説明した。

同機の導入により、フ

ークリフトの運転距離

電動工具としての利便

性を詳細に解説。バッテ

の排気ガスやホコリの飛

り交換が10秒とかから

頻繁に参加している理由

散が激減し工場内の空気

ず行なえ、500回以上

として、「箱を作る人の

汚染防止にも繋がる。人

の充電が可能で1回充電

笑顔を増やしたい」とい

身事故は全体的に減少し

すれば60〜120ロール

う目的があるとし、段ボ

てきたが、製造業として

を搬送でき、一度に3〜

ール現場の労災防止や負

はあまり減っていないデ

4ロールを安全に移動可

担軽減、品質向上など

ータを紹介し、出来るだ

能。ロール状なら最大20

様々なメリットを提供す

けフォークリフトを減ら

す(上位機種は30秒)を

ることに意義があると述

べたい思いがあったと強

片手で動かせる力強さな

べた。